

【エクアドル経済:2014年5月】

1. 高野博師外務省参与のエクアドル訪問

12日から14日までエクアドルを訪問した高野博師外務省参与は、レオナルド・アリサガ外務省副大臣及び伝統的天然資源省鉱山担当幹部と会合し、14日には、キト市内で開催された国際セミナー「生産マトリクス強化のための日本・エクアドル経済関係深化」(日本－エクアドル経済(貿易・投資)セミナー)において開会の挨拶を行った。

2. 日本－エクアドル経済(貿易・投資)セミナーの開催

(1)14日、キト市内において在エクアドル日本国大使館および工業・製造業会議所共催により国際セミナー「生産マトリクス強化のための日本・エクアドル経済関係深化」(日本－エクアドル経済(貿易・投資)セミナー)が開催され、エクアドル政府、エクアドル民間企業、エクアドルおよび周辺国の日本企業関係者ほか約180名が出席した。

(2)日本からは、高野外務省参与、小瀧駐エクアドル大使、板垣在エクアドル大使館参事官、細野JICA研究所シニア・リサーチ・アドバイザー、藤本日本貿易振興機構(JETRO)ペルー事務所所長、那須JBICニューヨーク事務所首席駐在員、伊藤三菱商事キト支店長、川端味の素ペルー社社長より、日・ラ米経済関係、日・エクアドル経済関係、各機関の活動の説明、貿易・投資の現状や課題について発表した

(3)一方、エクアドルからは、リチャード・エスピノサ生産雇用競争性調整大臣、アルバロ・ポンセ貿易省アジア、アフリカおよびオセアニア担当部長、ハビエル・ロサノ・エクアドル輸出振興公社(PROECUADOR)地域部長、ロベルト・ベタンクール貿易省通商交渉・経済統合担当次官、パブロ・ダビラ工業・製造業会議所会頭より、エクアドル政府の生産マトリクス強化の下での貿易や投資促進の努力、エクアドルから日本への潜在的可能性のある輸出製品の分析、今後の課題について発表した。

(4)発表者および参加者からは、「二国間の貿易や投資の状況を統計を踏まえて説明があったことで現状がよく理解でき、日本との関係についての様々なメリットが理解でき有益であった」、「民間企業の抱える問題を政府関係者に伝えるまたとない機会であった」、「エクアドルの官民関係者に活動や展望を説明する良い機会となったので感謝する。エクアドルの潜在的可能性も充分に感じる事ができたので、今後とも大使館の支援も受けつつ、エクアドルでも活動を進めていきたい」と高い評価を得た。

3. 細野昭雄ラテンアメリカ協会副会長兼JICA研究所シニア・リサーチ・アドバイザーのエクアドル訪問

(1)11日から20日までエクアドルを訪問した細野ラテンアメリカ協会副会長兼JICA研究所シニア・リサーチ・アドバイザーはキト市内およびグアヤキル市内において講

演を行った。

(2)「日・ラ米経済関係の新しいダイナミズムに向けて」

14日、在エクアドル日本国大使館および工業・製造業会議所共催による国際セミナー「生産マトリクス強化のための日本・エクアドル経済関係深化」(日本－エクアドル経済(貿易・投資)セミナー)において、「日・ラ米経済関係の新しいダイナミズムに向けて」と題する講演を行った。

(3)「新たな発展パラダイム:質の高い成長をめざして」

ア 15日、FLACSOの要請に応じ、在エクアドル日本国大使館とFLACSOエクアドルの共催、ラテンアメリカ協会の協力で「新たな発展パラダイム:質の高い成長をめざして」と題する講演を行った。

イ 講演会には、一般市民、大学関係者など約60名が出席した。細野副会長による講演に続き、ウィルソン・ペレスFLACSOエクアドル「開発」分野教授及びカティウスカ・キング元経済政策調整大臣の二人のコメンテーターによる意見が述べられた他、会場からも質疑応答が寄せられた。

(4)「新たな開発のパラダイム:生産マトリクスの効果的強化のためのイニシアチブ」

ア 16日、グアヤキル市内ホテルにおいて在エクアドル日本国大使館、グアヤキル工業会議所およびエスピリト・サント大学共催の講演会において「新たな開発のパラダイム:生産マトリクスの効果的強化のためのイニシアチブ」とのテーマの下で日・ラ米経済関係に関する講演を行った。

イ 同講演会には、グアヤキルのエコノミスト、企業関係者、日本企業関係者合計約50名が出席した。

4. ヤスニITT地区開発を巡る動き

22日、タピア環境大臣は、ペトロアマソナス社がヤスニITT(43鉱区)のTiputini鉱区とTambococha鉱区を採掘するために必要な環境ライセンスに署名した。これによりペトロアマソナス社は採掘のためのキャンプ地の設営やアクセスのための道路整備などが可能になった。